

令和5年度 生活科 授業改善推進プラン

大田区立相生小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・学校探検や町探検において、自分たちの学校や町に関心を持ち、楽しみながら活動することができた。
- ・植物の栽培で、継続して世話をし、観察することができた。
- ・苗植えや観察など、グループで活動することを通して、協力して物事に取り組むことができた。
- ・タブレットを使い植物の観察をすることで、タブレットの扱いに慣れた。

(2) 課題

- ・生き物の飼育では、関心をもって世話をする児童と、そうでない児童との差が大きかった。
- ・自然の様子や四季の変化等について、感じたことを言語化するのが難しかった。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・気付いたことを言語化できるように、メモしたことを文章にする練習をする。・観察項目を決め、時間経過による変化を意識させ、違いに気付く目を育てる。・タブレットを使用して調べ物をする等の操作を練習する。	<ul style="list-style-type: none">・町探検で思ったことや考えたことをカードに書いて発表したりする活動を繰り返し、表現する力を育む。・友達の発表や教師の例示から、言葉や言い回し等の表現方法のバリエーションを増やす。	<ul style="list-style-type: none">・学校探検で1年生を案内する。自分たちの学校について詳しく知りたいという思いや教えてあげたいという思いを抱かせ、主体的な学習活動につなげる。・適宜 NHK for school の動画資料を活用し、生き物への興味関心を高め、栽培・飼育活動への意欲を高める。